

Stay Safe, Stay Connected—LINEはなぜ、画面を消しても届くのか

Published: 2025-02-18T09:00:00+09:00 / Updated: 2026-09-05T20:57:00+09:00

Summary

「いつでも届く」は、スマートフォン、4G・5GやWi-Fi、基地局、通信事業者網、インターネット、通知基盤、サービス側サーバーが動き続けて成立しています。災害時は端末の充電だけでなく、この経路のどこが止まったかを切り分けます。固定回線側が利用可能なら、ONU、ルーター、Wi-Fiアクセスポイント、PoEスイッチなど建物内の通信経路をUPSで保持します。

Key Points

- 「いつでも届く」は、スマートフォン、4G・5GやWi-Fi、基地局、通信事業者網、インターネット、通知基盤、サービス側サーバーが動き続けて成立しています。災害時は端末の充電だけでなく、この経路のどこが止まったかを切り分けます。固定回線側が利用可能なら、ONU、ルーター、Wi-Fiアクセスポイント、PoEスイッチなど建物内の通信経路をUPSで保持します。
- 「LINEは無料」「スマホさえ充電できれば連絡できる」という感覚と、実際の通信の仕組みは別です。文字・写真・音声はデータとして4G・5GやWi-Fiを通り、基地局、通信網、通知基盤、サービス側サーバーを経由します。平時に見えないこの経路を分解し、災害時にどこが止まるか、建物側で何を電源保護すべきかまでつなげます。

Source Article

<https://www.ieee802.co.jp/articles/article-012-stay-safe-stay-connected.php>

© Kei Communication Technology Inc.

This document is a summary of the source article. For the latest information, refer to the source URL.